

スマート農業技術の開発・改良事業 予算別公募対象技術一覧

予算項目	令和5年度補正「戦略的スマート農業技術の開発・改良」公募対象技術			令和6年度当初「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」公募対象技術		
	公募期間	令和6年1月18日～2月15日		令和6年6月7日～7月5日		
メニュー 品目	開 発	改 良	栽培体系 ※開発または改良とセットでのみ提案可	開 発 ※栽培体系とセットでの提案必須	改 良 ※栽培体系とセットでの提案必須	栽培体系 ※開発または改良とセットでの提案必須
露地野菜	<ul style="list-style-type: none"> ○自動収穫に資する高精度な定植機等の開発 ○全自动収穫に資する作物の生育均一化のための適期作業診断システムの開発（トローンや衛星情報によるセンシング等） ○収穫物自動運搬システムの開発（重量野菜等） ○外観・品質等に基づく高度な自動選果システムの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○自動収穫に資する高精度な定植機等の改良 ○中山間地や狭隘な圃場に適した自動収穫機への改良（小型化等） ○汎用型台車ロボットの改良 	<ul style="list-style-type: none"> ○圃場の均平化やスマート農機の旋回スペースを確保した圃場整備 ○自動収穫に適した栽培体系（生育均一化・必要な資材開発等）の構築および品種の選定 ○自動運搬等に適した圃場整備および選果場のルート整備 ○選果・調製・加工ラインへの搬入・装填や、箱詰め等の自動化（たまねぎ、ブロッコリー、だいこん等） 			<ul style="list-style-type: none"> ○圃場の均平化やスマート農機の旋回スペースを確保した圃場整備 ○自動収穫に適した栽培体系（生育均一化・必要な資材開発等）の構築および品種の選定 ○選果・調製作業の自動化を可能とする栽培技術の開発および品種の選定
施設園芸	<ul style="list-style-type: none"> ○パック詰めロボットの開発 ○AI活用機の改良（特定品目の拡大） 		<ul style="list-style-type: none"> ○性の高い品種の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ○自動収穫ロボットの開発 ○芽かき、整枝、剪定等の管理作業の自動化技術の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○自動収穫ロボットの改良 （収穫率の向上、対応品目の拡大、夜間や人工照明下等適応条件の多角化） 	<ul style="list-style-type: none"> ○果梗が長い等機械収穫適性が高く、草姿管理が容易な品種の選定 ○機械作業を前提とした畝間の設定・レールの敷設等機械化に対応したハウスの整備
果樹	<ul style="list-style-type: none"> ○袋かけロボットの開発 ○自動授粉機の開発 ○剪定・誘引等の機械化技術の開発（スマートグラス等） 		<ul style="list-style-type: none"> ○機械化・自動化に適した樹種選定 朝が長い（茶）等の品種 	<ul style="list-style-type: none"> ○摘蕾・摘果ロボットの開発 ○自動収穫ロボットの開発（かんきつ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○自動収穫ロボットの改良（りんご・なし等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○摘蕾・摘果作業が少ない等の品種の選定 ○収穫や管理作業の機械化・自動化に適した樹形の開発・転換、品種の選定 ○機械の導入を可能とする園地整備（園内道の整備や植栽間隔の拡大）
土地利用 型作物	<ul style="list-style-type: none"> ○管理作業機等の開発 （特定品目） ○牧草の集約、乾燥化等の機械化技術の開発 ○運動技術の開発 		<ul style="list-style-type: none"> ○品種の選定 早晩性等を活用した品種の選定 ○栽培方法の確保等、スマート農機の圃場整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的な除草技術（株間除草ロボット・ピンポイント除草剤散布等）の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的な除草技術（株間除草ロボット・ピンポイント除草剤散布等）の改良 	<ul style="list-style-type: none"> ○大区画化や出入り口の確保等、スマート農機の効率を高めるための圃場整備
畜産	<ul style="list-style-type: none"> ○発情・疾病検知（画像センシング）技術の開発 ○搾乳ロボットや牛群検定データ等を活用した生産性向上技術の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○生体モニタリング機の非接触型等への改良 ○畜舎内の衛生確保技術の改良 	<ul style="list-style-type: none"> ○柱等の障害物を取り除きカメラでの撮影精度が高くなるような畜舎への改良 ○清掃ロボットの動線が確保しやすい畜舎への改良 ○搾乳ロボットに合わせた牛の飼養管理技術の開発 			
共通			<ul style="list-style-type: none"> ○既存機器を対象とした低廉化への改良 			

公募は終了
しました